

みどりの
通信



2013
12
NO.397

Merry Christmas



12月に入り、院内ではクリスマス準備が進んでいます。正面玄関にはボランティアさんのご協力により素敵なツリーが設置され、病院前ロータリー横のポケットパーク中央のレパノンスギにはイルミネーションが施されます。また、毎年恒例のクリスマスイベント(詳細は中面をご覧ください)を開催いたします。

ぜひお気軽にご参加ください。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能
評価機構の定める認定基準を達成しています。

おしらせ



クリスマスイベントのお知らせ

クリスマスキャロリング

出演はクリストファー大学 有志の皆さんです。

日時：12月16日(月) 12:10～12:30

場所：1階正面玄関ホール

クリスマスコンサート

出演は浜松学芸中学校・高等学校 ハンドベルクワイア部の皆さんです。

日時：12月19日(木) 17:30～

場所：1階(調整中につき、決まり次第ホームページ、院内掲示でお知らせします)

年末年始の診療について

12月28日(土) 皮膚科・眼科(※) 以外休診

12月29日(日)～1月3日(金) 休診

1月4日(土) 皮膚科・眼科(※) 以外休診

1月6日(月) 通常診療

※12月28日、1月4日の眼科診療は予約制とさせていただきます。

*休診期間中のお薬が必要な方は、お早めにご来院ください。

*休診期間中に受診されたいなど緊急の場合は

病院代表 (TEL053-436-1251) へご連絡ください。

なお、類似の番号のかけ間違いによりご迷惑をおかけしています。

お電話の際は番号をお間違えないようお願い申し上げます。

当院をご利用の皆さまへ

来院される際に発熱・咳などの症状がある方は、マスクの着用をお願いします。

また、抵抗力の弱いお子様やご高齢の方の入院患者様へのご面会はできるだけご遠慮ください。

なお、職員におきましても自らが感染源とならないよう、一部マスクを着用しております。ご理解とご協力をお願いします。

ご家庭に戻られた時には手洗い・うがいをしましょう。



がん患者さんのための おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？
おしゃべり会はみなさんと体験をわかちあい、支えあう会です。

日時：12月19日(木) 13:30~14:30

場所：聖隷三方原病院 管理棟2階 第7会議室

対象：がん患者さんとご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室

がん相談支援センター

TEL：053-439-9047



『みどりの通信』へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様から寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX：053-438-2971 みどりの通信編集部

栄養課通信 12月

地産地消～静岡県の食材～ 『クリスマスメニュー』

『ロマネスコ』という野菜を聞いたことがありますか？カリフラワーの仲間、花蕾には「フラクタル形態」というのがった塊がいくつもあります。まだ新種の野菜のため生産量が少なく市場であまり見かけませんが、県内でも生産が進んでいます。

疲労回復や美肌作りに欠かせないビタミンCが豊富で、加熱しても損失しないのが特徴です。カリフラワーよりβ-カロテンが多く含まれ、免疫力を高める効果があります。

鮮やかなひすい色をしています人工的な着色ではなく、自然に発生した品種を選抜育成したものです。存在感があり食卓が華やかになるため、特別な日にぜひお試しください。

簡単！旬のレシピ

今回は当院で提供予定の
『クリスマスメニュー』
の一部を紹介します

《栄養価 1人分》

エネルギー	188kcal
たんぱく質	13.0g
ビタミンC	26mg
食物繊維	0.9g
塩分	0.6g

4人分

鶏もも皮付き	320g
胡椒	0.1g
マジックソルト	2.0g
オリーブ油	適量
ロマネスコ	120g
塩	0.4g



作り方

- ①鶏肉は筋をとり、胡椒をかける
- ②①の鶏肉にオリーブオイルを表面に塗り、マジックソルトをかける
- ③220度に余熱したオーブンで50分焼く
- ④さっと茹でたロマネスコに塩をふり、付け合せる

〈ポイント〉

- レモン汁や酢などを少量加えると酸化を抑え、色鮮やかに仕上がります
- 房はなるべくバラバラにせず塊のまま茹でると、火の通りが均一に入り崩れにくいです

管理栄養士 堀内 麻菜美

栄養サポートチームとは

入院された患者様の栄養状態は千差万別です。必要な栄養量はどれくらいか、どのようにして栄養を摂取するのかが、患者様や病気によって異なっています。栄養状態が悪いと、治る病気も治らず、また余計な合併症を引き起こす元になります。そこで、患者様や病気に応じて適切な栄養管理を行う栄養サポート (Nutrition Support) が必要となってきます。これを実施するには関連する多職種の協働作業が不可欠です。栄養サポートを実践する集団が栄養サポートチーム (Nutrition Support Team : NST) です。

一般的に、患者様のおよそ 40% が低栄養状態であるといわれています。栄養状態が悪いと治療が思うように進みません。栄養状態の悪い方、または入院中に悪くなる可能性のある方を早期に発見し、改善・予防策を検討するための試みをチームでおこなっています。メンバーは医師・看護師をはじめ、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリスタッフ・・・など各専門スタッフです。医師だけでは見えない部分に対してもそれぞれの専門分野から多彩な意見を出し合うことでより良い医療を提供できるように努めています。

■栄養サポートチームの活動の目的は

栄養状態が悪いと、どれだけ治療してもなかなか回復できませんし、また、手術後に感染症や合併症を起こしてしまうこともあります。このような問題を解決するため、スタッフの専門性を活かしながらチームで患者様一人ひとりをサポートしています。

患者様に最もふさわしい方法で栄養状態を良好に保つことを目的としています。

■対象となる患者様とは

栄養摂取不良、吸収障害、代謝障害などが原因で起こる栄養不良の状態や、肥満、糖尿病など、過栄養で栄養改善が必要となる疾患は様々です。

■栄養サポートチームの手順

入院時に全患者様を対象に、食事摂取状況や体重の変化、むせの有無等、栄養状態の確認を行ない、栄養管理の方法を選択します。そして、状況を評価しながら患者様個々の問題点に合わせた栄養管理の提案、栄養状態の再評価などをおこなっています。

■栄養サポートがはじまったら

サポートを開始してからは、随時管理栄養士による栄養状態のチェックと、週 1 回の NST 回診が行われます。回診前には NST スタッフが集まりミーティングを行い、情報を共有化しています。回診では、病棟

スタッフ（主治医・担当看護師）とNSTスタッフ間で現在の治療と栄養状態の総合評価をおこない、患者様の意向も踏まえながら今後のプランを提案していきます。

必要に応じて、入院中および退院されてからの食事の摂り方や調理方法、補助食品のご案内、リハビリ、口腔管理の方法など、専門スタッフからのアドバイスも行っています。

栄養サポートチームは患者様の一日でも早い回復を願い、チーム医療の一環として日々活動をしています。



おしらせ



ご意見箱より

～お寄せいただいた内容をご紹介します～

ご意見：P2駐車場とタリーズ横出入口前の道路に横断歩道を設置してほしい。

当院からのお返事：横断歩道の設置に関しましては、交差点にある横断歩道からさほど遠くないため、警察から、これ以上の横断歩道は設置できないと言われており、設置できない状況です。残念ながら当面の計画はございませんが、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきたいと思います。また、ご不便をお掛けしますが、安全のため交差点の横断歩道をご利用いただきますようお願いいたします。

携帯電話の使用について

当院では一部のエリアを除き、携帯電話の使用が可能です。院内では、必ずマナーモードに切り替え、他の方の迷惑にならないようご配慮をお願いいたします。また、携帯電話での写真撮影はご遠慮ください。

なお、下記のエリアにおいては、携帯電話の使用は禁止ですので、電源はお切りください。

すべての診察室、検査室・NICU・院内ICU・透析室
救命救急センター（C3病棟・ICU）

編集後記

師走に入り、忘年会やクリスマスなどの行事にお正月準備など、なにかと忙しくなる時期です。今年の冬至は12月22日ですが、冬至に「ん」のつくものを食べると、運が付き風邪をひかずに過ごせると言われています。例えばだいこん、にんじん、うどん、なんきん（かぼちゃ）など。今年も寒い冬になる見込みですが、栄養をたっぷり取り暖かいゆず湯に入り、忙しいこの時期を乗り切り元気に新年を迎えたいですね。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 荻野 和功
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453
TEL 053-436-1251 (代) / FAX 053-438-2971
<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>